

企業だって 森づくり♪

山形日産自動車株式会社 編 日産プリンス山形販売株式会社



下刈り作業

皆さんご存じのとおり車両販売の会社です。特に県内の内陸で営業を行っています。庄内地方では山形日産自動車販売(株)が車両の販売をしております。他にも日産部品山形販売(株)等6社を含めて山形日

Q 山形日産自動車(株)・日産プリンス山形販売(株)はどんな企業ですか？

山形日産自動車株式会社
日産プリンス山形販売株式会社
人財戦略部 課長
笹原 啓さん



明日美幸さん

松：感想を聞いた時に「勉強になった」、「タメになった」と言ってもらえると嬉しいですね。魅力はやはり、年

仲：同感です。私の場合は楽しくやってもらいたい、これが第一にあります。ただ、感性は十人十色で感じ方は違うのでここは苦勞する点だ

プロフィール

仲山常吉さん(写真中央)
：源流の森インタープリター
明日美幸さん(写真左)
：認定こども園寒河江第二幼稚園園長
松田泰之さん(写真右)：天童市森林組合主任

もりしあ人

—森がある幸せを伝えたい—

今回のもりしあ人は、やまがた木育人材養成講座を修了し、講師として活躍されている方々の中から代表して3名からお話を聞きしました。三者三様の背景を持つ方々がやまがた木育に携わる上での想いなどを取材してきました。

Q 活動の中での喜びや苦勞を教えてください。

明：参加する子どもたちがワクワクしながら材料を選ぶときの表情を見るとすごく嬉しくなります。一緒に作業していく中で、どんな思いを作品に込めていくのか、子どもたちと触れ合う中でその子の想いを感じ取れます。そうして完成した作品を見た子ども達の達成感にあふれる笑顔を見たときに私は幸福感が得られ、これがやはり魅力だなと思います。一方で、イメージ通りにできないもどかしさや集中できない小さい子に対しての指導の仕方が難しいなと感じています。

仲：やはりワクワク感がカギかもしれませんね！

Q 活動当初と今の心情に変化はありますか？

仲：当初と今では相当変わりました。素材としての木材の魅力発信したいと思っていました。今は山形県の森林を大切にしようというやまがた木育の何たるかを伝えることに重点を置いています。

Q 活動を始めたきっかけはどうですか？

土日が営業日であるため、かねてから家族との時間を大切にしたいとネックとなっており、何とかしたいと思っていました。そんな中で、社長が率先し、土日を思い切つて休みにして社員家族一同で何かできないかと模索していた際に、やまがたの森の取組みに出会ったのがきっかけです。平成29年度から朝日町で活動をはじめ今年で7年目になります。



親子で参加しました

Q ニッサンの森はどんな森ですか？

環境にやさしい森づくりをテーマとして活動しております。この環境には自然の環境だけではなく、社員への店舗を休みにしてなるべく社員家族も参加できるようにしております。



松田泰之さん

明：当初は紙やすりの使い方や目の細かいやすりに移るタイミングなど作り方をしっかり指導しなければと思っていました。今は参加者が何に興味を持ってきたのか、一緒に寄り添いながら心情を感じ取りつつ指導したり、これを通して自分の学びなおし、そして自分の興味関心が深まってきているのを感じています。あと、何より、回数を重ねること



仲山常吉さん

松：心の余裕は確かに出ましたね(笑)。今日はこのネタ面白いだろうなと思ってせっかく用意していたものも、アドリブでこなしていたら全て飛ばしてしまいました(笑)。
仲：松田さんが県のブナ林の面積をイベント開催地の市町村の面積との比較で説明したり、地域に密着した話をしていただいたのが面白かったです。

Q ニッサンの森での活動を通して社員さんの意識は変わりますか？

何回も活動に参加することで、1回目よりも2回目と回数を重ねるたびに整備した場所が綺麗になり、樹木がのびのび成長する様子を見て、森づくり活動を通して環境や社会に貢献できている実感を得られているようです。

松：ありがとございます！正直、始めた当初は木育って何？というところから始まったので心情でいうと全く違いますね。今やりたいことが一つ。ブナの実を採取してきて試食してもらえたら楽しいかなとも考えています。ただ、通販でも手に入らないのでやはり参加者が外に出て、実際に採取してきて食べるところまで体験する機会を作りたいと考えています。

明：やっぱり山形の良さや魅力は成長してから理解できる部分も多いので、小さいときにだけ山形の良さを体感できるかにかかっています。そんなやまがた愛の人を育むためにやまがた木育を皆さんと続けたいと思います！！



さらなるスキルアップを目指し「ハイパースキルアップ講座」を受講しました

Q 目指すところは？

将来どう展開していくかまだまだ検討中ですが、5年後、10年後、20年後にはニッサンの森として立派な森林ができた実感できるような森づくりを継続して参ります。そして森づくりを通して山形の環境をはじめとして社員、家族ひいては地域との絆をさらに深めるべく引き続き活動を続けて参ります。



下刈りのあと参加者みんなでハイチーズ